

— 多様な視点からの防災について —

令和3年12月23日（木）に津軽河岸あと広場の石の蔵において、茨城県主催のオンライン研修会が行われました。「多様な視点からの防災～高齢者・子ども・女性などの視点から考える地域防災活動のあり方～」を議題として、自宅のできる災害対策や、災害が起きた際の避難所について、あらゆる視点からの環境づくりが重要である旨の講義の後、グループワークでは、地域防災等について他市町村との情報共有を行いました。今回は出席いただいた推進員の方に、研修を通しての感想をお伺いしました。



様々な分野に男女が共に参画することが、地域社会の活性化に繋がり、暮らしやすい社会の実現になります。しかし現実には、固定的役割分担意識が根強く、特に大規模災害時などの有事の際に強く表れると感じます。日頃から、地域の多様な人材・意見が生きる防災の組織づくりのために、私たち市民も自主防災活動に積極的に参加し、災害時に役立つ活動をしていきたいと思いました。

（潮来市男女共同参画ネットワーク連絡会会長 大川容子さん）

研修を終えて、改めて早期避難の体制づくりの大切さを感じました。また、一人一人避難意識を高めることや、団体施設においては災害を想定し、避難訓練が重要だと感じました。そして、人口減少や、隣近所で助け合う共助の力が落ちていることから、避難生活での安全、地域の防災力の維持・強化に向けた対策も考えなければならないと感じました。

（茨城県男女共同参画推進員 本宮 洋子さん）



非常持出袋のご用意はできていますか？

それぞれの状況に応じた
中身の例をご紹介します

女性向け



- ・生理用品
- ・汗拭きシート
- ・ブランケット
- ・歩きやすい靴

乳幼児がいる世帯

- ・ミルク（液体タイプなど）、哺乳瓶
- ・乳児用飲料水
- ・離乳食・スプーン
- ・紙おむつ・ビニール袋
- お気に入りのおもちゃ



シニア世帯



- ・持病薬
- ・入れ歯・洗浄剤
- ・介護食
- ・紙パンツ

ペットがいる世帯

- ・ペットフード
- ・トイレシート
- ・リード
- ・エサ・水用のお皿



災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～

URL <https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/guideline.html>

（内閣府男女共同参画局HPより）

【お問合せ】企画調整課 ☎63-1111